

令和7年度 花いっぱいのもちづくり推進事業 取扱い品種一覧

1	<p>芝桜</p> 	<p>難易度：条件が合えばとても丈夫。合わないとおっけなく枯れる。 日照量：必ず日当たりのよい場所で 水分量：乾燥を好む 耐寒性：強い 肥沃度：花後の春に控えめに肥料を与え、秋にも控えめに追肥します。 日当たりがよく乾燥気味の場所で育てます。土はやせていてもかまいません。適地に植えられたなら放任しても勝手に増えていくほど丈夫に育ちます。この環境が用意できない場合、育成は難しいです。</p>
2	<p>なでしこ</p> 	<p>難易度：高温多湿にやや弱い基本的には丈夫 日照量：日向を好むが真夏は遮光した方が枯れにくい 水分量：やや乾燥した環境を好む 耐寒性：緩い寒さなら平気 肥沃度：肥料要求が高いので緩効性肥料は必須。開花期は液肥も。日当たりと水はけのよい場所なら丈夫に育ち、花つきがとてもよくなります。その条件を満たしてやれないと徒長したり、病気にかかりやすくなり花つきも悪化します。</p>
3	<p>バーベナ</p> 	<p>難易度：丈夫だが地植えは条件を選ぶ 日照量：日向を好む 水分量：適湿を好む 耐寒性：品種によるが基本的には冬越できない 肥沃度：株が疲れなように緩効性肥料だけでなく時折液肥を日当たりと水はけのよい場所に植えれば初夏から晩秋まで長期間花が楽しめます。庭植えするなら事前に腐葉土や砂などを多めに混ぜて水はけを良くします。高温多湿には弱いのでなるべく風通しのよい場所に置きます。夏は花数が少なくなるので切り戻して蒸れさせないようにします。</p>
4	<p>ケイトウ</p> 	<p>難易度：暑さに強く丈夫だが過湿に弱い 日照量：日向を好む 水分量：水はけのよい土地を好む 耐寒性：寒いのは苦手 肥沃度：肥料を食うので元肥の他に液肥も。チッ素分は葉が茂るので注意。高温には強いですが過湿にはやや弱いので、蒸れにくいなるべく開けた場所が適しています。水はけが悪いと根ぐされを起こしやすいので、砂や腐葉土を多めに混ぜて高植えにします。移植に弱いところがあるので、ポット苗の場合は根を傷めないように気をつけて。</p>
5	<p>コリウス</p> 	<p>難易度：乾燥しなければとても丈夫 日照量：暗すぎると生育悪くなるが真夏は遮光がおすすめ 水分量：少し湿った場所を好む 耐寒性：一般的には一年草 肥沃度：元肥に緩効性肥料を与えるが草姿が乱れるので少な目に暑さや湿気に強く丈夫です。日当たりから半日陰を好みますが、黄・白系は半日陰くらいが葉色があせずにきれいです。乾燥を嫌うので、植栽する土は水もちのよいものを用います。葉からの蒸散も激しいので水分のチェックは忘れずに。</p>

6	<p>インパチェンス</p> 	<p>難易度：乾燥に気を付ければ丈夫  日照量：日照不足に強いが日陰だと徒長しがち  水分量：じめじめした環境に強く乾燥が苦手  耐寒性：本来は多年草だが日本では冬越しできない  肥沃度：定植時に元肥しっかり、切らさないように液肥併用  午前中のみ日が当たるような半日陰の場所がベストですが、明るい日陰でもなんとか育ちます。日照不足に強いとはいえ、あまりに暗かったり風通しが悪いと株が徒長して立ち上がってしまい美しく育ちません。肥沃な湿った土を好み、乾燥は大の苦手です。</p>
7	<p>メランポジューム</p> 	<p>難易度：とても丈夫  日照量：日向を好みますが半日陰でも育つ  水分量：乾燥は苦手  耐寒性：一年草  肥沃度：開花期が長いので長期間効く元肥と液肥を併用。  花つきを良くするなら日当たりのよい場所に植えますが、半日陰でも育てることができます。植え付け用土はあまり選びませんが、肥沃でやや水もちのよい土を好みます。生育旺盛で乾きやすいので注意。</p>
8	<p>サルビア</p> 	<p>難易度：とても丈夫  日照量：日向を好む  水分量：鉢植えは水きれに注意  耐寒性：霜よけすれば関東以南なら冬越できる  肥沃度：肥料食いがよいので元肥と液肥で株の勢いを維持する。  日当たりと水はけ、水もちのよい場所が適地です。暑さに強く、丈夫で手間もかかりません。生育初期に摘心を行って枝数を増やすと、こんもりした姿になります。</p>
9	<p>ファリナセア (ブルーサルビア)</p> 	<p>難易度：花をあまりつけずに終わってしまうこともある  日照量：日向を好む  水分量：過湿は苦手  耐寒性：基本的には一年草  肥沃度：緩効性肥料をしっかりと。初夏～秋の最盛期には液肥も。  条件を満たせば丈夫で綺麗に咲いてくれるので、適地に植えることが大切です。日当たりと水はけのよい、風の通る場所に植えます。蒸れに弱いので通風は大切な要素になります。早くから摘心してこんもりした姿を保つと、美しいだけでなく丈夫に育ちます。</p>
10	<p>アスター</p> 	<p>難易度：暖地ではやや育てづらく、害虫にも弱い  日照量：日当たりのよい場所を好む  水分量：適湿を好む  耐寒性：寒さにやや弱く、寒地では春まきする  肥沃度：定植時に元肥を与え、つぼみがつくまで液肥も併用。  日当たりと水はけのよい場所を好みます。比較的冷涼な気候を好み、南関東以西の暖地ではやや育てづらい花です。連作すると生育が悪くなり、病害虫も出やすくなるので避けます。</p>

11	<p>ペチュニア</p> 	<p>難易度：丈夫だが花がら摘み大変。高温多湿に弱いので注意。  日照量：日向を好む  水分量：水はけのよい土地を好む  耐寒性：半耐寒性の品種もあるが基本的には冬越できない  肥沃度：元肥に緩効性肥料を使い、花が増えたら液肥を追加。  丈夫な花です。水はけと日当たりのよい場所に植えれば、簡単に次々と花を咲かせてくれます。ただ、過湿や日照不足になると莖が徒長して軟弱に育ってしまい花つきも悪くなってしまいます。過湿にならないように水やりのメリハリをつけるようにします。特に地植えの場合は事前に水はけの改善を行いましょう。梅雨～夏に弱りがちです。</p>
12	<p>マリーゴールド</p> 	<p>難易度：比較的丈夫だが夏の露地植えは葉が汚くなりがち  日照量：日向を好む  水分量：水はけのよい土地を好み過湿は苦手  耐寒性：寒いのは苦手  肥沃度：チッ素肥料のあげすぎは葉ばかりが茂るので注意。  日当たりと水はけのよい場所に植えます。開花期が長いので適切に肥料を与えて株の勢いを維持します。可能ならハダニ予防のため葉裏に水をかけますが、実際には完全に防ぐのは難しいです。高温多湿に弱いので、雨を避けられない場合、夏は切り戻して休ませたほうが、秋に綺麗な花を長く楽しめます。</p>
13	<p>ペゴニア</p> 	<p>難易度：涼しい時期は丈夫だが暑さは苦手  日照量：半日陰程度で咲く  水分量：乾燥も過湿も苦手  耐寒性：寒いのは苦手  肥沃度：緩効性肥料を生育期に与え、開花中には液肥肥料を併用。陽射しがあまり強いと葉焼けを起こします。特に初夏～秋の直射光は遮光した方が良いでしょう。通気性のある水はけのよい土を好みます。土の表面が乾きだしたら水を与えますが、葉が株元を覆うようにこんもりするため、土の乾き具合が分かりづらいので水切れに注意しましょう。</p>
14	<p>日日草</p> 	<p>難易度：丈夫で高温に強い  日照量：日向を好む  水分量：過湿は苦手だが意外と水きれにも弱い  耐寒性：本来は多年草だが日本の冬は越せない  肥沃度：元肥を効かせたあとは、秋口に追肥するのみで十分。  丈夫で高温にとても強い夏むきの植物。イメージの通り、日当たりのよい場所で育てないと花つきが悪化し徒長しやすいです。過湿に弱いので水はけのよい土に植えます。苗から育てる場合は移植に弱いところがあるので根を崩さないように植えます。</p>
15	<p>ポーチュラカ (ハナスベリヒユ)</p> 	<p>難易度：とても丈夫  日照量：日向を好む  水分量：乾燥した環境を好む  耐寒性：よほど気に入った株でなければ一年草扱い  肥沃度：元肥に緩効性肥料を与え、開花期に液肥を控えめに。  日当たりのよい、乾燥した場所で育てます。シメジメした環境は好みませんが、もともと性質が強く土の水はけがよければ多少の長雨にも耐えます。用土には砂やパーライトなどを多めに混ぜ、高植え気味にします。</p>

16	<p style="text-align: center;"><b>コキア</b></p> 	<p>難易度：暑さに強くて丈夫  日照量：日向を好む  水分量：乾燥気味の環境を好む  耐寒性：一年草  肥沃度：元肥を与えれば追肥はいりません。  日当たりと水はけ、風通しのよい場所に植えます。暑さや乾燥に強く夏以降は育成が楽になります。移植に弱いところがあるので注意が必要。苗から植えつける際は根を傷めないようにしましょう。</p>
17	<p style="text-align: center;"><b>パンジー</b></p> 	<p>難易度：丈夫だが花がら摘みの根気が必要  日照量：日向を好む  水分量：水はけのよい土地を好むが乾燥も苦手  耐寒性：強い  肥沃度：元肥をしっかり施して開花中は液肥も併用する。  植え付けの際は根本際がやわらかいので傷つけないようにします。タネをつけやすいので、早めに終わった花を摘み取ると株が疲れずに済みます。</p>
18	<p style="text-align: center;"><b>ビオラ</b></p> 	<p>難易度：丈夫だが花がら摘みの根気が必要  日照量：日向を好む  水分量：水はけのよい土地を好むが乾燥も苦手  耐寒性：強い  肥沃度：元肥をしっかり施して開花中は液肥も併用する。  とても丈夫な花です。日当たりと水はけのよい場所に植えればどんどん花があがってきます。勢いを持続するために水・肥料切れに気をつけましょう。タネをつけやすいので早めに花がらを摘み取ると株が疲れずに済みます。</p>

【参考】

1.新・花と緑の詳しい図鑑

[http://garden-vision.net/flower/flower-bunki\\_moto.html](http://garden-vision.net/flower/flower-bunki_moto.html)

2.季節・生育地でひける野草・雑草の事典 530種 金田初代・金田洋一郎著 西東社

3.色・季節でひける花の事典 820種 金田初代・金田洋一郎著 西東社